コナミオープン水泳競技大会 実行委員会

「第 38 回コナミオープン水泳競技大会」新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

基本事項

■はじめに

新型コロナウイルスの感染を最大限に防止しながら水泳競技会を運営するためには、選手、指導者、保護者、チームスタッフ、競技役員全ての方の理解と協力が必要です。残念ながら感染のリスクは 0（ゼロ）ではありません。ひとり一人が自覚と責任をもって自己防衛することが重要です。「自分は大丈夫」の考えは捨て、すべての人が新型コロナウイルスの特性を正しく理解し、感染防止に努めてください。

■新型コロナウイルス感染症の基本事項

新型コロナウイルスの感染経路は、咳やくしゃみ等の飛沫が目や鼻、口の粘膜に付着し、呼吸器に入ることによって感染する飛沫感染が主体であり、換気の悪い環境では咳やくしゃみなどがなくても感染すると考えられている。また、喀痰や鼻水等の体液およびそれらで汚染された環境に触った手で目や鼻、口の粘膜に触れることによって感染する接触感染もあるため、上記 2 つの経路の感染予防策を徹底する。有症者が感染伝播の主体であるが、無症状病原体保有者からの感染リスクもあるため、常に予防を意識する。

・飛沫感染予防

全員がマスクを着用する。

全員が咳エチケットを徹底し、会話は控えめにする。

人と人が対面する場所ではアクリル板やビニールシート等を用いた仕切りを設置する。

飛沫は空気中を漂わず空気中で短距離（1～2m）まで到達するため、対人距離（1～2m 四方）を確保する。

換気を徹底する。

・接触感染予防

流水と石けんによる手洗いもしくは擦式アルコール消毒薬による手指消毒を徹底する。

アルコールや抗ウイルス作用のある消毒剤含浸クロスで定期的に高頻度接触部位および共用物の清拭消毒を行う。

参加者の遵守事項

参加者に以下を周知、理解を求める。

競技会の 7 日前から当日までにおいて下記事項に該当する場合は、参加の見合わせを求める。

・発熱(37.5℃以上)を認める。

・せき、のどの痛みなど風邪の症状がある。

・だるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。

・嗅覚や味覚の異常がある。

・新型コロナウイルス感染者との濃厚接触歴がある。

・同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる。

・参加 7 日前までに政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある、または当該在住者との濃厚接触歴がある。

施設管理

受付では、アクリル板・透明ビニールカーテン・手袋等を準備して対応する。

洗面所・手洗い場所

・手洗い場には石鹸を用意する。

・正しい手洗い方法について掲示をする。

・手洗い後に使用するペーパータオルを用意する。(利用者にマイタオルの持参を求めてもよい。ハンドドライヤーについては使用しないようにする)

・手洗いが難しい場合は、手指消毒用薬を用意する 。

・トイレの蓋を閉めてから汚物を流すよう掲示する。

更衣室・待機スペース

・できるだけ 2m以上の対人距離を保つようなスペースを確保する。

・待機スペースでは、最少人数での待機とする。

・室内またはスペース内で複数の入場者が触れる場所（ドアノブ ・ロッカーの取手・テーブル・椅子等）については、こまめに消毒する。

・換気に配慮する。

・更衣室入口に手指消毒用薬を用意する。

・更衣室のロッカーは使用前後の消毒を行い、ロッカーの使用数を制限することを原則として接触部位が少なくなるような対策をとる。

・ドライヤーは会場内には置かないようにする。

水泳場

・入館から退館時までの全ての場面で、できるだけ 2m以上の対人距離をとって行動できるような動線管理、入退場人数管理を設定する。

・各レーン内やプールサイドで待機する場合、できるだけ 2m以上の距離を保つ。

・泳ぐ時以外はマスクを着用すること。（更衣室・プールサイド・トイレなどで着用するようにする）ただし、マスクが濡れないように着用する。
・泳ぐ前に外したマスクは袋に入れること。
・共用品（ビート板やプルブイなど）を使用する前には、アルコール等による手指消毒を実施すること。大きな声での会話や指導をしないこと。ホイッスルは使用しない。
・唾や痰を吐くことは極力行わないこと。
・飲食については、指定場所以外で行わないこと、また共有しないこと。
・施設管理者が決めたその他の措置・指示について従うこと。
・プールの水質基準を適切に管理するなど、関係法令等に従う。
・換気を徹底する。

ゴミの廃棄

・鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。
・マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗う、または手指消毒をする。

清掃・消毒

・消毒については用途に応じて消毒薬を選択する。
・通常の清掃後に、不特定多数が触れる環境表面を開場前、閉場後に消毒する。

救護室の準備

・十分な広さのある救護室を確保し、医師・保健師・看護師いずれかにすぐに連絡が　　とれる体制にする、発熱者が発生した場合などに適切な対応ができるようにする。
・医療用個人防護具（フェイスシールド・ゴーグル・手袋・マスク・白衣など）を準備し、救護者や体調不良者の対応にはこれらを着用して行う。
・発熱者が出た場合の隔離室または隔離できるテントなどを確保する。（適切な部屋が確保できない場合は、飛沫感染防止可能なカーテン、パーテーションなどで仕切ったコーナーを用意する）

コーチの活動について

・コーチの活動に関して、接触を伴う運動は禁止とする。
・運動指導や救急対応（テーピング等）は、3 密を回避した状態で、感染対策を十分に行ったうえで対応可能とする。

飲食について

・参加者およびスタッフが食事を摂取する際には個別に摂取する。やむを得ない場合にはできるだけ 2m以上の十分な距離をとり、対面しないように摂取する。
　また食事中の会話は控えるようにする。
・食事を摂取する場所が限定され人が密集しないように、屋外も含めた多くの場所で摂取できるように配慮する。対面式のテーブルなどでは、一方向のみの使用とするかパーテーション等の使用を検討する。

運用管理

入場・待機・受付時の対応

・参加者の遵守事項記載の内容に該当する参加者については参加を見送るようにする。

・「参加者の時間差入場」「待機人数の削減」「人との距離を考慮した目印」「スタッフと参加者の入退場動線を分ける」等の対策をとる。

・障がい者や高齢者など、入場者の特性に配慮して対応する。

・「マスクの着用」「大声での会話」「対面での会話」等飛沫感染予防について注意を促す。

・入場時に手指消毒液を使用させる。

・必要に応じて非接触体温計を使用して発熱者であれば、入場を制限する。

練習時の対応

・練習時は、チームごとに「時間帯を分ける」「使用レーンを分ける」など、できるだけ 2m以上の距離を保てるようにする。

・「各レーン内で待機する場合」「スタート練習で並ぶ場合」は、できるだけ 2m以上の間隔を保つ、会話をしない等の指示をする。

・参加者に対して、泳ぐとき以外のマスク着用を周知する。

・唾や痰を吐くことは極力行わない。

・コーチの大声での指導やコーチ同士の会話を控えるようにする、ホイッスルは使用しない。

・ハイタッチや握手は行わない。

大会終了後

・参加者全員が退館しないように時差を設けて退館する。

・ミーティング、懇親会等は行わないよう周知する。

退館後

退館後 2 週間以内に「新型コロナウイルス感染と診断された」場合には、感染連絡担当者に対して、報告するように周知する。

水泳競技会【選手・引率者の皆さんに守っていただきたい事項】

大会前

・大会前 7 日以内において以下のいずれかの事項に該当する場合は出場を見合わせること。

・発熱(37.5℃以上)を認める。

・せき、のどの痛みなど風邪の症状がある。

・だるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。

・嗅覚や味覚の異常がある。

・新型コロナウイルス感染者との濃厚接触歴がある。

・同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる。
・参加 7 日前までに政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある、または当該在住者との濃厚接触歴がある。

大会当日

・入館から退館時までの全ての場面で、十分な対人距離（できるだけ 2m以上）をとって行動する。
・指定された入場時間を厳守する。(指定時間より前には入場できない)
・入場時は自身の AD カードを提示し、検温を受けること。
・入場時検温にて発熱が認められた場合は、大会救護担当者の指示に従う。
・入場前に体調不良となった場合は、会場内に入場せず帰宅するか、判断に迷う場合は入場口の大会スタッフに申告する。
・会場内で体調不良となった場合は、近くの大会スタッフに申告し、移動せずにその場で指示を待つ。携帯電話等で連絡可能な場合は、その場で大会実行委員会に連絡し指示に従う。(連絡方法は実施要項等で指定する)
・消毒液で手指の消毒をしてから入場する。また、こまめな手洗いと手指消毒を実施する。トイレなど共用部の利用後は必ず消毒を行うこと。(手指消毒と触れた場所の消毒)

【消毒について】
・新型コロナウイルスは目から感染する場合があるため、ゴーグルは常に清潔に管理し、装着時は手指の消毒を行い清潔な手で取り扱うこと。
・スタート台バックプレート調節の前後は手指消毒を行うこと。

・会場内では、入水時を除きマスクを着用すること。(更衣室・プールサイド・トイレ控え場所・招集所などで着用するようにする) ただし、マスクが濡れないように着用する。
・マスクを外した時は、専用のケースまたはポケット等に収納すること。また、マスクを外している間は会話を控え、咳やくしゃみが出る場合は、口を「肘で覆う」または「タオルや衣類で覆う」など咳エチケットを徹底する。
・マスクは水濡れ等で使用できなくなることが予想されるため、必ず予備を持参すること。また、不要になったマスクは、ビニール袋等に収納して持ち帰ること。(会場内では捨てない)

【マスクについて】
・レース直前は招集係の指示があるまでマスクを外さない。
・レース直後やウォームアップ直後は、呼吸が落ち着くまでマスクを着用せずに指定の場所で待機すること。

・可能な限り水着を着用して来場すること。
・更衣室は係の指示に従い利用すること。更衣室の入退時に手指消毒を行う。また、体や髪が濡れている場合は更衣室に入る前に十分に水を拭き取ること。（更衣室内に留まる時間を極力短くする）

【更衣室について】
・更衣室は更衣のみの使用とする。**ロッカーへの荷物収納はできない。**
・更衣中はマスクを着用のまま会話を最小限に止めること。
・更衣室内のドライヤー・脱水機は利用できない。
・更衣室内の扇風機（サーキュレーター）は換気のために調整しているため、向きを変えたり移動したりしない。
・更衣室は入室人数制限を行うので、係員の指示に従うこと。

・練習（ウォームアップ･クールダウン）は、実施要項等で指定された時間および利用方法を厳守すること。

【練習について】
・追加要項または当日の電光掲示で指定されるレーンを使用すること。
・スタートダッシュの順番待ち、または水中で順番を待つ際は、会話を控え他者との間隔を保つこと。
・練習用具をプールサイドに放置すると他者が触れる可能性が高く、感染のリスクが高まるため練習用具は使用しないことを推奨する。使用する際は管理を徹底すること。
・監督・コーチの大きな声での指導は控えること。練習時のホイッスルは電子ホイッスルに限り使用を認める場合がある。要項の指示に従うこと。

・選手控え場所は主催者が指定するエリアとする。対人・座席間の距離をできるだけ 2m 以上保つこと。
・ごみは必ず持ち帰ること。

【控え場所について】
・追加要項で指定する控え場所を厳守すること。

・飲食する場合は以下を厳守すること。
(1)　集団で同時の飲食はできるだけ避けること。複数人が同時に飲食する場合は十分な対人距離を確保し、対面しないこと。
(2)　食事中は会話をしないこと。
(3)　飲食物の共有・分け合いは禁止する。
(4)　要項等で別途指定がある場合は、それに従うこと。

・招集は大会実施要項で指定された集合方法に従うこと。
・招集所では選手間の対人距離をできるだけ 2m以上保ち、会話を控えること。

【招集について】
・密を避けるため、早めの集合は禁止する。競技進行には配慮するので、慌てず行動すること。
・自分が出場する「組」と「レーン」を事前に把握すること。

・ウォーミングアップまたは競技出場の際は、衣類・履物を収納するための袋を必ず持参し、自己の荷物はすべて持参した袋に入れて管理すること。

【荷物の管理について】
・ウォーミングアップまたは競技出場の際、衣類やタオルの「むき出し」での放置は感染リスクを伴うため、必ず袋等に収納すること。
・使用する袋は可能な限りコンパクトなものとすること。また、競技規則に定める商業ロゴマーク等の取り扱い規定に違反しないように注意すること。

・大きな声での会話や応援をしないこと。コーチは、練習時の大きな声での指示を控えること。
・水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、専用の物を用意し共用しないこと。
・選手は、自分の競技終了後、速やかに退館すること。
・団体で集合してのミーティング等は禁止する。
・競技会主催者・施設管理者が定めたその他の措置・指示に従うこと。

大会後
・大会後 7 日以内に「新型コロナウイルス感染症」を発症した場合、またはその疑いが生じた場合は、速やかにコナミオープン実行委員会に報告すること。

【コナミオープン実行委員会】
〒140-0002 東京都品川区東品川 4-10-1
連絡先：SwimmingTeam@konamisports.com